

自民党公認 元 神奈川県 産業労働局長 43才
まさあき
わさき 雅昭

即効性のある物価対策と 中長期的な経済対策を

43歳。初めて政治の世界に挑戦します。

駅に立っていますと、急激な物価高騰等によって日々の暮らしに不安を感じている方々に多くお会いしました。そうした方々に向けて、給付金などによる迅速な支援を進めます。そして同時に、企業の生産性を高め、賃上げにつなげるなど、中長期の経済対策にも本気で取り組まなければなりません。これまで16年間の行政経験、産業労働局長としての経験をしっかりと活かしていきます。

私自身、まわりの人や社会の仕組みに支えられてきた人間です。6人兄弟の末っ子とし

て家計を助けるため、小学4年生から中学まで新聞配達を続けました。大学・大学院には奨学金制度を活用して進学し、今も返済を続けています。働く場があり、挑戦したいと思った時、背中を押してくれる制度があったからこそ、ここまで歩んでこられました。だからこそ今度は私が、この神奈川県で、この日本で、一歩を踏み出そうとしている人たち、今を一生涯懸命生きている人たちを、しっかりと後押しできる社会をつくっていきます。



**所得の増加、担い手不足対策、
テクノロジーの活用など、
持続可能な経済成長**

労働人口が減少する中で、経済成長と所得の向上実現は、規制緩和やテクノロジー活用による生産性向上に加え、子育て、高齢者、障がい者、仕事をしながら介護をする人など、多様な人々が活躍できる環境整備が急務です。誰もが活躍できる社会と経済成長を実現します。

**103万円の壁に続く、
物価上昇等に即した政策の総点検・見直し**

国と地方での行政経験をいかして、交通遺児への支給金など、デフレ時代から変わってこなかった様々な公的補助や制度に関して、時代の変化や物価上昇など、生活の実態に合わせて改革します。

**豊かな教育環境と、望む誰もが安心して
子どもを育てられる社会へ**

闇バイトや自殺等から子どもを守り、地域や経済状況による教育格差を是正し、また、不妊治療支援のあり方を検討し、切れ目なく支える体制を強化し、「非認知能力」を育む教育の推進等、国と地方が連携し、全ての子どもが安心して健やかに成長できる社会を目指します。

**人生100歳時代における
未病改善・健康寿命の延伸**

平均寿命・健康寿命の延伸のために、「未病」の改善を推進します。食や運動、オーラルフレイル対策などに加えて、社会との繋がりがつくりを促進し、心身ともに健康でいのか輝く社会を実現します。

都市型農業・海業・林業など一次産業の推進

消費地に近い神奈川県では、都市農業、海業や林業等の一次産業が魅力です。食料安全・保障強化を踏まえ、食料安定供給と持続可能な産業発展のため、観光・飲食業との連携（六次産業化）に加え、多様な担い手支援、後継者対策、価格形成への理解促進、有害鳥獣対策、スマート技術導入、経営多角化支援などを進めていきます。

**人にもペットにも優しい災害対策と
公共インフラの安全強化**

インフラ老朽化や災害の深刻化に加え、自治体間の連携不足やデジタル化の遅れが防災・減災の障壁となっています。道路やライフライン、郵便網等、社会基盤の持続可能性を高め、「人との繋がりが」に投資を行い、災害時にも人や家族である。ペットを含む誰もが迅速・安全に避難できる強靱な地域づくりを進めます。

**スポーツ・音楽・エンタメの力で、
誰もが輝き、活気あふれるまちへ**

スポーツや音楽、エンターテインメントが持つ、人々を繋ぎ、交流を生む力をいかして、世代や背景を超えた地域の一体感を醸成し、誰もが健康で自分らしく輝けるまちづくりを目指します。スポーツ・エンタメ産業の促進も図ります。

■プロフィール／昭和57年生まれ
宮崎県出身・横浜市在住。
6人兄弟の末っ子として生まれる。団地で暮らし、小学4年生で新聞配達を始め、中学3年生まで続ける。奨学金制度を活用することで、

京都大学法学部、神戸大学大学院、東京大学法科大学院と進学し卒業(司法試験合格)。国家公務員の説明会で総務省の先輩に言われた「一緒に日本を良くしていこう」という言葉に感銘を受けて、総務省に入ることを決断。

熊本県赴任経験を経て、神奈川県で11年勤務。全国の公務員を繋ぐ「よんなな会」を立ち上げる。趣味は地元の人に愛される飲食店巡り、ラーメンと焼肉、おとつとが好き。座右の銘は「一期一会」。

X (Twitter) Instagram WebSite
詳しい情報を発信しております。